

令和3年12月定例会 5か年計画特別委員会の概要

日時 令和3年12月20日(月) 開会 午後 1時36分
閉会 午後 2時14分

場所 第3委員会室

出席委員 齊藤正明委員長

田村琢実副委員長

逢澤圭一郎委員、宮崎吾一委員、藤井健志委員、美田宗亮委員、飯塚俊彦委員、
武内政文委員、須賀敬史委員、中屋敦慎一委員、平松大佑委員、柿沼貴志委員、
井上航委員、白根大輔委員、山根史子委員、橋詰昌児委員、権守幸男委員、
秋山もえ委員

欠席委員 なし

会議に付した事件並びに審査結果

議案

議案番号	件名	結果
第118号	埼玉県5か年計画の策定及び埼玉県防犯のまちづくり推進計画等の変更について	修正可決

その他

第118号議案について附帯決議を付することを決した。

【第118号議案に対する修正案の説明】

中屋敷委員

第118号議案「埼玉県5か年計画の策定及び埼玉県防犯のまちづくり推進計画等の変更について」に対する修正案について、提案者を代表して説明する。

埼玉県5か年計画は9月定例会で付託され、同定例会において5か年計画特別委員会を設置し、内容について執行部から詳細にわたる説明を受けた後に審査を行い、その後閉会中に4回に及ぶ審査を行った。今回の5か年計画案においては、執行部で議論を重ね提案されたものであり、5年後だけでなく2030年やその先の2040年を見据えて作成されたもので、今後の本県の進むべき道を示している。しかし、残念ながら一部の項目に施策として不足するものや、新たな取組及び施策指標を明確にした方がいいものが見受けられた。そこで、今回修正案を提案させてもらうものである。修正案の作成に当たっては、我が党の委員のみならず、全ての委員の全ての審査について、数にして450にも及ぶ項目を精査し、評価させていただいた。その上で、自民党としての修正案を作成し、本日配布した。当初議案には、「第1編 総論」、「第2編 全体計画」、「第3編 地域別施策」があるが、修正案は、このうちの「第1編 総論」と「第2編 全体計画」を修正するものである。

それでは、配布した修正案資料に基づき、主な修正点を説明させていただく。まず、修正案1ページを御覧いただきたい。一番上の項目、「第1編」の「総論」であるが、この「総論」は考え方を示す箇所に当たり、例示の必要性が希薄であることから、一部固有名詞を削除している。

次に、「第2編 全体計画」における修正についてである。まず、修正案1ページの上から二つ目、区分の「第2編」の「1 針路1 災害・危機に強い埼玉の構築」の施策「ア 危機管理・防災体制の再構築」における「主な取組」に、災害発生時にその対応が非常に重要なものであるため、「帰宅困難者対策の実施」を追加している。

次に、修正案2ページの一番上の項目、区分の「第2編」の「2 針路2 県民の暮らしの安心確保」の施策「カ 生活の安心支援」における「施策指標」に、貧困の連鎖解消に資するものであることから、「生活保護世帯の中学3年生の学習支援事業利用率」を追加している。

次に、修正案3ページの一番上の項目、区分の「第2編」の「3 針路3 介護・医療体制の充実」の施策「エ 医師・看護師確保対策の推進」における「施策指標」で掲げられている「人口10万人当たりの医療施設の医師数」を、「医療施設の医師数」に修正する。修正理由は、分かりやすいように必要な医師数を指標とすべきことや、社会・経済的条件の近い千葉県や神奈川県と本県における近年の増加傾向を加味した平均値に達することを目指した指標とすべきことの2点である。

次に、修正案4ページの一番上の項目、区分の「第2編」の「5 針路5 未来を創る子供たちの育成」の「(1) 背景」において、「ヤングケアラーの顕在化」及び「性の多様性への意識の高まり」を追加している。修正理由は、県の調査により顕在化したヤングケアラーとされる児童生徒や、性的指向や性自認などで悩みを抱える児童生徒が存在する現状について明記すべきであるからである。

同じく、修正案4ページの一番下の項目、ここも「5 針路5 未来を創る子供たちの育成」であるが、施策「ウ 多様なニーズに対応した教育の推進」における「施策指標」に、「いじめの解消率」等を追加している。「いじめの解消率」追加の理由としては、いじ

めは児童生徒にとって重大な事案であり、早期発見・早期対応によっていじめの解消に努めることは大切であることからである。

次に、修正案6ページ一番上の項目、区分の「第2編」の「7 針路7 誰もが活躍し共に生きる社会の実現」の施策「エ 人権の尊重」における「施策指標」で掲げられている「人権啓発事業に参加して、偏見を持ったり、差別をしないよう行動したいと思った人の割合」を、「人権啓発事業の参加者数」に修正する。修正理由は、人権尊重社会を実現するための施策指標として、よりふさわしい指標に差し替えるべきであるからである。

最後に、同じく修正案9ページの上から3番目の項目、「第2編」の「12 針路12 儲かる農林業の推進」の施策「イ 強みを生かした収益力ある農業の確立」における「施策指標」に、「販売農家数に占める販売金額1,000万円以上の農家数の割合」を追加している。追加の理由としては、本県農業の収益力を向上する上では、他産業と遜色のない収入を上げられる農業者を増やしていくことが重要であることからである。

そのほかにも、施策、取組及び施策指標などを修正しているが、詳しくは資料を御確認いただきたい。委員各位におかれては賛同賜るようお願い申し上げます。以上で説明を終わらせていただく。

【第118号議案に対する修正案に関する質疑】

秋山委員

- 1 修正案4ページにある「いじめの解消率」に関する施策指標に関して、我が党としてはいじめに関する指標や教育に関する指標について慎重であるべきという立場である。当然、いじめの解消率については100パーセントがいいという思いは同じである。しかしながら、「いじめを解消した」というのは、様々な立場によって違ってくるかと思うが、それでも、この施策指標を追加すべきと考えた理由は何か。
- 2 修正案5ページにある「小・中学校に在籍する不登校児童生徒が学校内外の機関等で相談・指導を受けた割合」について、この「機関等」には医療機関も含まれているのか。

中屋敷委員

- 1 本県議会は、平成21年6月定例会に「子どもを守るためのいじめ根絶に関する決議」を議決しており、いじめの根絶に関する決議を複数回行っている。早期対応により、いじめの解消に努める必要があるが、委員御指摘のとおり、「何をもっていじめを解消したか」というのは立場により様々であると考えている。しかしながら、いじめの解消率について100パーセントを目指すことは自明の理であることから、施策指標に追加すべきと考えた。
- 2 お見込みのとおり、医療機関も含まれている。医療機関を含めた現状値が67.4パーセントであることから、85パーセントを達成するためには約20ポイント上げることとなり、かなり高い目標を掲げていると考えている。1人でも多くの児童生徒に対して適切な対応につなげることを強く願い、この施策指標を追加した。

【第118号議案の原案及び修正案に対する討論】

平松委員

第118号議案並びに修正案に賛成の立場から討論する。本議案は新型コロナウイルス感染症拡大で起きた社会変化を経て、策定される注目の5か年計画である。「感染症対策」への取組が示されているとともに、ポストコロナを見据えた内容になっている。本県の平成27年から令和12年までの後期高齢者の増加率は全国で最も高く、異次元の高齢化と

も呼べる状況である。地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくりなど、異次元の高齢化に対応した取組も記載されている。また、日本経済の停滞が続く中、新たな活力の源であるベンチャー企業の育成などにも取り組んでいく中身となっている。教育分野においては、急速なグローバル化、超スマート社会の到来といった変化の激しい時代を生き抜く力を子供たちが身に着ける取組も盛り込まれている。そして、大野知事は就任後、「公約を県の施策全体との整合性を持って効果的に進めるためには、総合計画である5か年計画に体系的に位置付けていく必要がある」と述べている。その視点において、修正案は提出されるものの、執行部から上程された原案の柱となる部分、大切な部分は原案の中にしっかりと残されている。質疑の中でDXの取組が遅れていることに対する危機感が薄いことを特に指摘した。執行の際には、各部局の共通認識として進めていただきたいと考える。修正箇所は「盛り土」や「帰宅困難者対策」のように重要かつ、必要なものに限ったものとなる。そして、県民視点での読みやすさも向上している。提案者とも、無所属県民会議として質疑を通し指摘してきた「帰宅困難者対策」の必要性を共有できたことも大きいと考える。FCVについては修正案で文言がなくなっている。政府のCO₂削減目標の達成のためにも、わざわざ選択の幅を狭めるようにも取れる修正は必要ないのではないかと我が会派は考えているが、特出し表記をやめたとはいえ、「など」に含まれていることや、市町村などの取組を妨げるものではないことを提案者に確認できたので、この修正についても了とした。以上の理由から賛成する。

秋山委員

埼玉県5か年計画案の修正を除いた部分、原案に賛成する立場から討論する。今回提案された5か年計画案は、埼玉版SDGsを掲げ、性的マイノリティであるLGBTQに関する理解増進や多様性について重視していることが大きな特徴であると感じている。また、災害時や新しい感染症の発生に備えるとともに、気候危機に立ち向かうため「2050年カーボンニュートラルの方向性」、再生可能エネルギーの普及拡大を大きく位置付け、本県の新しい時代を拓く意欲を感じるものとなっている。しかし、教育分野には、児童生徒を単一的な物差しで競争させ、多様性を失わせる数値目標が散見される。特に、施策19の全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査の施策指標である。また、国の直轄事業に従い、今後71億円もの負担金を支出し続ける施策9の「渇水時における水源の確保割合」の施策指標もある。競争を原動力とした教育の在り方や国の言いなりである直轄事業の在り方は、5か年計画が未来志向であるだけに、非常に残念である。全体に対する評価により、議案には賛成するが、教育の分野に対しては教員体制の強化や少人数学級、特別支援学校の整備など教育環境の整備を求めていく。また、国の直轄事業負担金についても積極的に見直しを国に対して求めていく。

【第118号議案に対する附帯決議を求める動議についての説明】

須賀委員

第118号議案に対する附帯決議案について、提案者を代表して説明する。

ただ今配布した案文の朗読をもって、説明に代える。

埼玉県5か年計画の実施に当たっては、次の項目に掲げる取組を各分野別施策における「主な取組」の施策実現に合わせて推進すること。「1 針路1 災害・危機に強い埼玉の構築 ア 危機管理・防災体制の再構築 消防学校における消防職員の教育体制の強化」、「エ 感染症対策の強化 保健所の体制強化」、「2 針路2 県民の暮らしの安心確保 イ 交通安全対策の推進 鉄道事業者と連携した鉄道の安心・安全の確保」、「3 針路3

介護・医療体制の充実 イ 介護人材の確保・定着対策の推進 ・介護人材としての外国人材の活用 ・介護職員の処遇改善の促進」、「ウ 地域医療体制の充実 医療提供体制の充実のための病床整備率の向上」、「4 針路4 子育てに希望が持てる社会の実現 ウ 児童虐待防止・社会的養育の充実 児童虐待防止におけるヤングケアラー支援の推進」、「5 針路5 未来を創る子供たちの育成 ア 確かな学力と自立する力の育成 我が国や郷土に対する誇りを育む教育の推進」、「6 針路6 人生100年を見据えたシニア活躍の推進 イ 生涯にわたる学びの推進 新しい県立図書館の時代に応じたゼロベースでの検討」、「7 針路7 誰もが活躍し共に生きる社会の実現 イ 女性の活躍推進と男女共同参画の推進 女性の就業率の向上に向けた施策の展開」、「ウ 障害者の自立・生活支援障害者優先調達の促進」、「8 針路8 支え合い魅力あふれる地域社会の構築 オ デジタル技術を活用した県民の利便性の向上 デジタルデバイドの解消に向けた取組の促進」、「11 針路11 稼げる力の向上 ア 新たな産業の育成と企業誘致の推進 S A I T A M A ロボティクスセンター（仮称）の整備推進」、「イ 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援 北部地域振興交流拠点のゼロベースでの検討」、「12 針路12 儲かる農林業の推進 ア 農業の担い手育成と生産基盤の強化 ・農業の担い手としての後継者の確保・育成の強化 ・違反転用対策の強化」、「イ 強みを生かした収益力ある農業の確立 試験研究の充実に向けた取組の強化」、「ウ 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大 木造建築技術アドバイザー制度の普及・啓発の強化」である。委員におかれては御賛同のほどよろしくお願い申し上げます。

【附帯決議案に対する質疑】

なし

【附帯決議案に対する討論】

井上委員

附帯決議について賛成討論を行う。5か年計画に対する附帯決議は事例としては少なく、直近の2回の5か年計画の審査において附帯決議はなかった。そのことを前提とした上で、今回の附帯決議について、掲げる項目に対して、仮に「主な取組に準じるような扱い」を求めるものとなれば賛成は難しいが「施策実現に合わせて推進すること」を求めるという趣旨となったため、我が会派も賛成できると考えた次第である。提案者には、我が会派が質疑を通して指摘してきた事項を共有していただいただけでなく、今申し上げた附帯決議の趣旨や項目の表現について、私たちが調整を求めた事項についてもおおむね対応いただいた。我々の会派だけでなく、各会派、そして執行部とも十分に調整を図った上での提出というプロセスにも理解し、本附帯決議に賛成する。